

さあ、自分探しの旅へ・・

茅野高 ちのこたか

令和7年（2025年）
12月24日版

茅野高って、どんな高校なのか
少しくわしくお知らせします。

学校説明会や進路相談会などで、中学生やその保護者の方からお問い合わせを受ける内容をまとめました。

Q 茅野高の特色は何ですか？

A 他の高校にはなかなか見られにくい特色は2つあります。一つは、2年生が全員おこなうデュアルシステム（デュアル実習）です。これについては次のページでくわしく解説します。

二つ目は、生徒数が少ないので、一人ひとりに対して丁寧な指導をしている高校だといふことです。

A そこはイエスと約束できません。茅野高は全日制の普通科の高校で、単位制でもあります。中学校と違い、進級や卒業していくためには、授業への出席や取り組み状況、学びたいという意思、定期テストや課題での成果などが必要です。もちろん校則を守ることも必要です。

多くの公立高校がそうであるように、自動的には進級や卒業はできません。だからこそ、卒業証書には価値があるのです。

Q 進級できますか？

Q 二つの「丁寧な指導」とは具体的にはどういうことですか?

A いくつかの科目は、クラス単位ではなく、もつと少ない人数に編成し、生徒さんのわからないことや困っていることを見つけやすくしています。現在の茅野高の生徒さんは、苦手な教科があつたとか、わからないままで中学校を卒業してしまつたという人もいますので、基礎まで戻つて学び直しをしている科目もあります。何よりも、本校の先生方が丁寧です。生徒さんはもちろんですが、先生方が茅野高の自慢です。

それとは別に、長野県のスクールカウンセラーの重点派遣校ですので、先生方以外にも相談先があります。

いずれ世の中に出していく時のために



規則正しい生活リズム



協働によるコミュニケーション能力



基礎からの学び



幅広い進路選択

この生徒さんは希望する地域の企業に就職することができました。他にも四年制大学で希望する研究をしている先輩たちもいて、多様な進路選択が可能です。

本校の校は「生きる力を求め、地域を担わんとここに学ぶ」です。簡単に言えば、茅野高は世の中で通用するための力をつける場所だということです。デュアルシステムもその一環です。合理的な配慮はしていますが、中学校のように支援学級や中間教室があるわけではありません。

世の中に出でていくための力を付けていくことや、自分が成長、変化していく機会を拒

Q 茅野高には中学時に不登校の生徒さんも少なくない、と聞きましたが、配慮についてもう少しくわしく教えてください。

A 不登校だった生徒さんや特性や個性を持った生徒さんも在籍しています。

中学校で授業を1時間も受けたことのない生徒さんが、本校では委員長をつとめたり、部活動で活躍したりしています。

ある生徒さんは「高校生活で青春したかったので、通信制ではなくて、全日制の高校を選びました」、「(茅野高は)少人数なので、人と話したり、コミュニケーションをとることにだんだん自信が持てたんだと思います」と言っています。恐らく最初は勇気が必要だったでしょうし、学習面でもかなり努力していました。

この生徒さんは希望する地域の企業に就職することができました。他にも四年制大学で希望する研究をしている先輩たちもいて、多様な進路選択が可能でです。

本校の校是は「生きる力を求め、地域を担わんとここに学ぶ」です。簡単に言えば、茅野高は世の中で通用するための力をつける場所だということです。デュアルシステムもその一環です。合理的な配慮はしていますが、中学校がよう支援学級や中間教室があるわけではありません。

世の中に出でていくための力を付けていくことや、自分が成長、変化していく機会を拒

あなたにとつて茅野高が合うかどうかは、見てみないとわかりにくいかもしれません。茅野高を見学してみませんか？ 所属する中学校を通じて、ご相談ください。

茅野高校は努力を続ける生徒さんを応援しています。

たたこれまで述べてきた
本校のスクールカラーに即し
ていれば、心配や不安のある
入試だからこそ、合格した時
に大きな喜びがあります。
茅野高のような公立高校で
は、入試もまた進級や卒業と
同じようにどんな生徒さんで
あっても合格は約束されてい
ません。今できる学習を精一
杯やつて入試の日を迎えてく
ださい。

A 令和六年度から前期選抜でも学力検査が課されていま
すので、学力面で苦戦してい
る生徒さんは、より心配して
いることでしょう。

入試での学力検査は前期も
後期も総合的に判定する際の
一部にすぎませんが、学力検
査で必要な点数についてはそ
の年の入試問題の難易度や倍
率によりますので、本校とし
て何点必要かは準備していま
せん。

Q 高校入試が心配なのです
が。入試では何点くらいの必要
ですか？

高校入試が心配

むような姿勢は、本校には向
いていないかもしません。

Q デュアルシステムって何ですか？

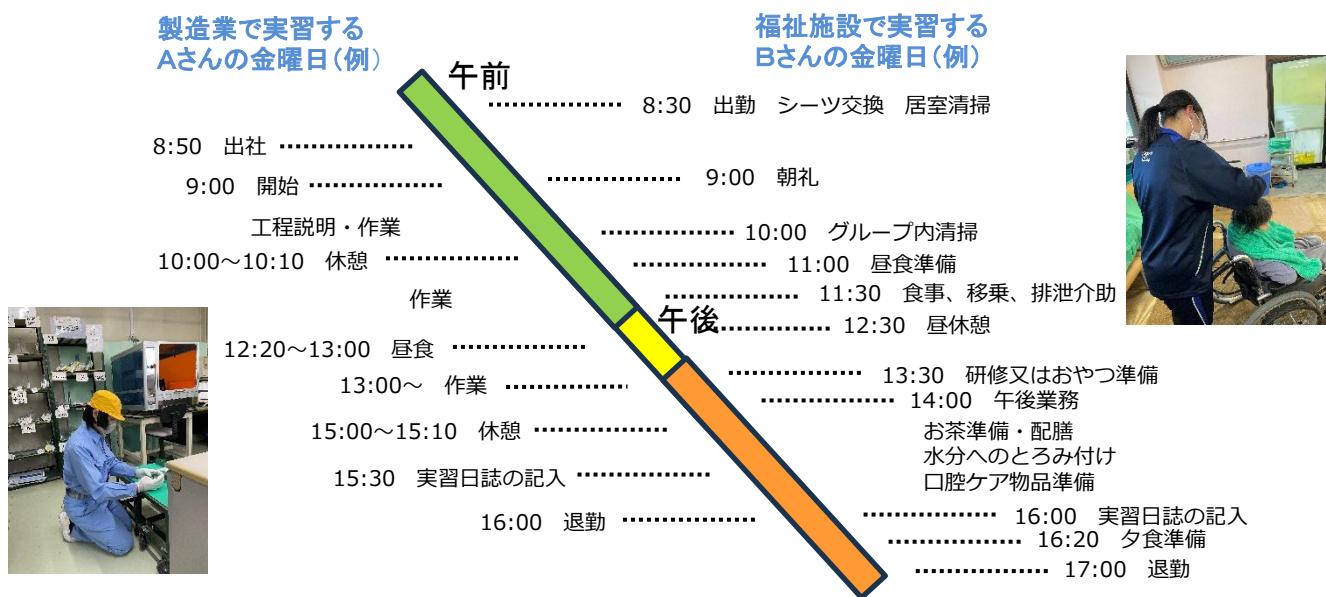
A 職場実習の授業のことです。

受検を検討している方
保護者の方
一般の方 向け

茅野高校では、2年生になるとほぼ毎週金曜日、地域の事業所で、職場実習をします。

従業員のみなさんと長期間、一緒に働くことで、自分に向いている仕事、世の中に出していくのに必要とされる力、自分に足りない力を理解していきます。その意味で小中学校で行った職場体験の「体験」とは違って、「実習」なのです。

2年生の金曜日は校外でこの実習をし、月～木は校内で授業を受けるので、「デュアル」（「2つの」という意味）と呼びます。長野県内の普通科の高校で全員を対象としているのは、本校のみ。必修科目です。以下に実習の例と茅野高生の声を紹介します。



〈「デュアル」を経験した茅野高生の声〉

「仕事ができる、できない以前に、時間を守る、あいさつや返事、ごめんなさいが言えることの方が大事で、それができて初めてスタートラインに立てるということがわかった」

「作業をしている最中に失敗してしまいました。ですが社員の方に『この失敗を引きずるのではなく、学んでほしい』と言われ、失敗を悔やむのではなく学びに変えることの大切さを知りました」

「人と話すことは緊張してしまって苦手だと思っていたが、利用者さんや職員の方と接するうちに自分から話しかけられるようになった。話すことは苦手じゃないと気づくことができた」

茅野高校では、近年は卒業生の半数以上が就職しています。

一方、全国的には高校卒業後3年以内に仕事を辞めてしまう確率、離職率は38%にのぼり、10人のうち4人に近くが辞めてしまう計算になります。もっと早くから自分のことやその仕事のことを知っていれば避けられた、遠回りしなくとも済んだかもしれません。

本校は工業や商業、農業といった専門高校ではありません。中学3年生の時点ではどの方面に進むのか決められなかった生徒さんも、茅野高で学び、必要とされる人として就職していきます。

自分が何をしたくて、何に向いているのか、茅野高で「自分探し」をしてみませんか？



長野県茅野高等学校
CHINO High School

〒391-8511 長野県茅野市宮川11395
<https://www.nagano-c.ed.jp/chino-hs/>
全日制普通科



茅野高校ホームページ